

配水施設を「更新・統合」します。



 **安心で安全な水道水の供給を持続します。**

● 配水施設とは

◆「配水施設」とは、配水池や配水ポンプ、受変電設備、電気計装設備、自家発電設備など、水道水を供給するために必要不可欠な設備を有した施設(配水場)のことです。

北名古屋水道企業団では、昭和44年の発足以降、これらの設備を整備し24時間365日、皆さまに水道水をお届けしています。

● 本企業団の配水場

◆ 北名古屋水道企業団には、下記の3箇所に配水場(配水施設)があり、給水区域内の皆さまへ加圧ポンプによる配水を行っています。各配水場における井戸水の浄水に加え、愛知県水道用水供給事業(県営水道)より受水した水道水を供給しています。

- ・中央配水場
〒481-0005 北名古屋市薬師寺山浦1番地1
- ・師勝配水場
〒481-0004 北名古屋市鹿田天井田16番地
- ・豊山配水場
〒480-0202 豊山町大字豊場字前池118番地
(令和3年3月に井戸の取水を停止)



中央配水場



師勝配水場



豊山配水場

● 本企業団の現状

◆「中央配水場」は、企業団の創設期である昭和44年から昭和48年に建設され、50年以上が経過しています。

「師勝配水場」と「豊山配水場」は、第1期拡張期の昭和52年から昭和53年に建設され、45年以上が経過しています。

また、中央配水場で受水した愛知県水道用水供給事業(県営水道)の水道水を師勝配水場へ送る「送水管」についても、昭和53年の布設から46年が経過しており、配水施設と同様に老朽化が課題となっています。

現在、本企業団では、配水場から避難所や病院などの重要給水施設への配水管(水道本管)において、令和4年度に策定した「管路再整備計画」に基づき更新工事を進めていますが、配水施設の更新についても、令和3年度に策定した「配水場施設等更新計画」に基づき、管路と並行して更新工事を進めていきます。

● なぜ更新が必要なのか

◆ 老朽化により、配水施設の不調や基幹管路で漏水等の事故が起きると、広範囲で長時間にわたり断水となるリスクが高まります。老朽化した配水設備や基幹管路を順次更新していくことにより、重大事故のリスク軽減が図れます。

さらに、老朽化とともに懸念されるのは、今後起きることが予測されている巨大地震です。配水施設の耐震性については、配水池は耐震補強工事を行ったことで一定の耐震能力を有していますが、配水池に連結する管路や、水を送り出すポンプ施設については耐震能力を有していません。このため、防災、減災の観点からも、更新工事は必要不可欠と考えます。

● 施設の更新と統合

◆「配水場施設等更新計画」の概要は、現在の中央配水場の配水機能を拡張し、「新中央配水場」として稼働させた後に、師勝配水場と豊山配水場を順次廃止していくものとなっており、計画期間は20年としています。

3箇所の配水場を、県営水道の受水点がある「新中央配水場」1箇所に統合することにより、師勝配水場への送水管の更新を無くせるほか、各配水場にかかっていた様々なコストを軽減させられるなど、多くのメリットがあります。

※下図及び中面参照

中央配水場の更新にあたっては、今の配水機能を維持しながら実施する必要がありますが、現在の中央配水場には新たな配水施設を建設する余地がないことから、隣接する土地に配水池やポンプ施設などを建設し、配水機能を拡張した後、現在の機能を停止する流れとなっています。



配水池(中央)



配水ポンプ(中央)



電気計装設備(中央)



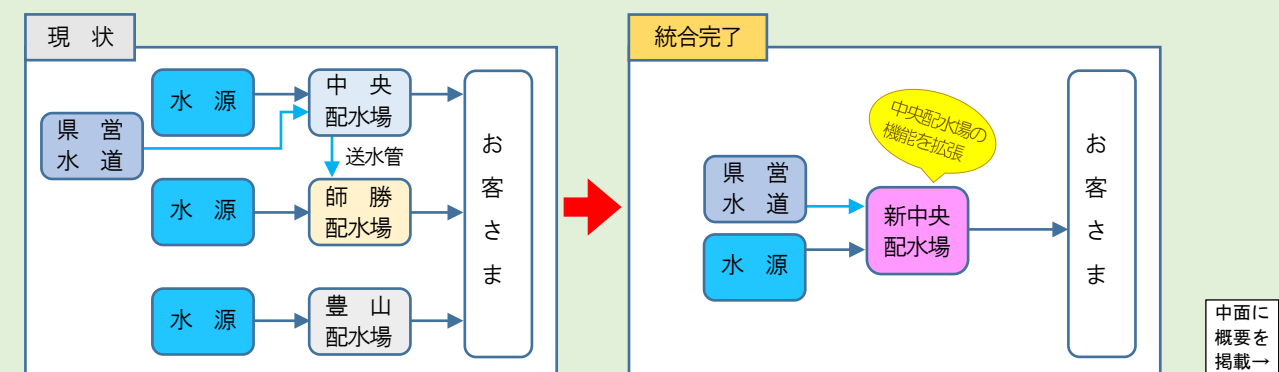
配水池(師勝)



配水ポンプ(師勝)



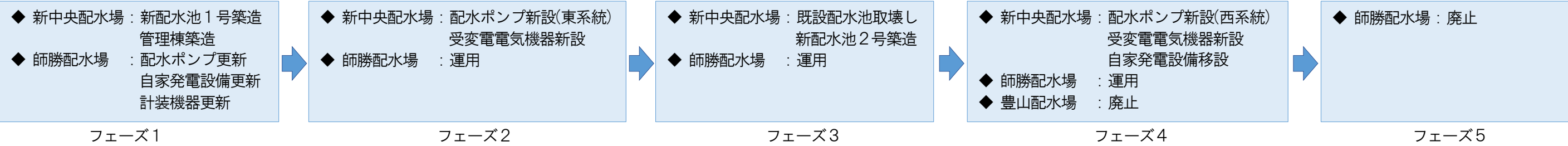
自家発電機(師勝)



中面に
概要を
掲載→

中央配水場の施設を更新し、「新中央配水場」へ

◇「配水場施設等更新計画」の流れ(計画期間20年)



・「配水場施設等更新計画」は、ホームページに詳細を掲載しております。

・「配水場施設等更新計画」、「管路再整備計画」の概要については、ホームページに掲載の「水道ビジョン」でもご覧いただけます。

・近隣のお客様へは、地元説明会の実施や着工前にチラシ等で工事日程などをお知らせするなど、十分な周知を行ってまいります。

・工事期間中は、騒音、交通規制等でご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

